

019

# 歴史に親しむ金沢 その4

## 明治～近現代まで

## 講座内容

この講座は2年間(春学期・秋学期×2回)を受講することにより、古代から近現代までの金沢区域を中心とした政治、文化、庶民の生活等をわかりやすく解説し、理解していただくことを目的としている。今回のシリーズでは第一回が鎌倉時代を中心に、第二回は室町時代から戦国時代の金沢を紹介した。第三回は江戸時代を、第四回として明治～近現代の金沢区域を中心として起こった話題を提供する。今後は話題の範囲を三浦半島に拡大して郷土の歴史を紹介したい。

期間	10月21日～11月25日	受講料	5,000円
曜日	土曜日	定員	50名
時間	10:00～12:00	会場	横浜・金沢八景キャンパス
回数	全6回、1回は「街歩き」体験	持ち物	筆記用具
教材	講師が毎回講演概要を配布、当日はパワーポイントによるスライド説明		
備考	第6回(11月25日)は街歩きを行います。詳細は講座内でお伝えします。		

## 講座スケジュール

回数	日程	内容
1	10月21日(土)	金沢八景に魅了された鍋木清方が暮らし・描いた金沢 清方が「絵日記」形式で描いた江戸の面影を残す戦前の金沢を概説。
2	10月28日(土)	長州ファイブ英国留学 日本の近代化を支えた明治の技術官僚たち。伊藤博文と鉄道建設。
3	11月4日(土)	大橋新太郎と金沢 明治～昭和時代に、主に渋沢栄一に経営の才を認められて実業界で活躍するとともに、別荘を持ったこの金沢にも多大な貢献をした大橋新太郎の人物、足跡を概説する。
4	11月11日(土)	金沢と横須賀軍港の関係を紐解く 近代の金沢は、国際貿易の横浜文化圏と横須賀文化圏の中間地となったが軍事・経済的には「横須賀鎮守府」を中心とする旧海軍管轄区域だった。横須賀海軍施設の一部を担った歴史の経過からその関係を紐解く。
5	11月18日(土)	幕末から明治時代の金沢・追浜の変遷や人々の暮らしを概説 金沢や近接する追浜について、藩や幕府直轄地から神奈川県に移行、明治時代の行政や暮らしの変化を概説する。追浜は範頼伝説の「追浜」から飛行場までの通史にも触れる。
6	11月25日(土)	街歩き 街歩きによる歴史体験「金沢から富岡の古道を歩く」 金沢文庫駅西口(集合)⇒君ヶ崎⇒鍋木清方別荘跡⇒(旧金沢道)⇒称名寺赤門・仁王門前(御尼寺坂普請供養塔)⇒金沢町第二公園(海岸尼寺跡及び大橋新太郎別荘跡)⇒(旧御尼寺坂に平行した団地内道路)⇒西柴小学校⇒柴シーサイドファーム頂上⇒小柴自然公園に沿った山道(金沢～小柴～富岡間古道及び公園建設計画)⇒眺望の道⇒長浜団地⇒長浜みはらし公園⇒県立循環器呼吸器病センター⇒庚申塔⇒環の坂⇒富岡六地藏⇒二松庵(鍋木清方と川合玉堂との交流)⇒京急富岡駅(解散)ルートは変更することがあります。

## 講師紹介

コーディネーター

田中 保(たなか たもつ)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員  
ガイド歴9年、「金沢八景に魅了された鍋木清方が暮らし・描いた金沢」の講義を担当

井上 泰利(いのうえ やすとし)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員  
ガイド歴17年、「長州ファイブ英国留学」の講義を担当

栗林 信夫(くりばやし のぶお)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員  
ガイド歴11年、「大橋新太郎と金沢」の講義、「街歩きによる歴史体験」の企画・実施リーダーを担当。

篠崎 博之(しのざき ひろゆき)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員  
ガイド歴5年、「金沢と横須賀軍港の関係を紐解く」の講義を担当

松崎 寛(まつざき ひろし)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員  
ガイド歴9年、「幕末から明治時代の金沢・追浜の変遷や人々の暮らしを概説」の講義を担当。